

平成29年度 第2四半期決算 社長談話

今年度上期は、「事業改善命令・監督命令による措置を講ずるための計画」及び「安全投資と修繕に関する5年間の計画」等に基づき、安全の再生に向けた取り組みを着実に進めました。

また、お客様の安全を最優先に取り組むことをJR北海道グループ全社のミッションとし、安全性を向上させ、お客様に安心してご利用いただけるサービスの提供、お客様満足の向上に努めてまいりました。

第2四半期決算は、鉄道運輸収入が減収となりましたが、ホテル業や不動産賃貸業が好調でグループの事業全体では二期連続の増収となりました。

他方、安全の基準を維持するための修繕費が増加したことなどから営業赤字は拡大しました。経営安定基金資産の売却益などを加えても単体としては前年よりも11億円悪化した21億円の赤字となりましたが、グループの経常利益は14億円の黒字を確保できました。

今年度の年初業績予想は連結で過去最大の130億円規模の経常赤字となる大変厳しい計画としていますが、札幌圏における鉄道のご利用増加や地域観光施策を強化するほか、好調なホテル業で収益を確保するなど収支改善にグループで全力を挙げて取り組むことで経常赤字の悪化を最小限にとどめ、連結での最終赤字は年初業績予想と同じ110億円をめざします。

引き続き、安全の再生と持続可能な交通体系の構築に全力で取り組むとともに、将来の収益の柱を育てるべく、当社単体だけではなく、グループが一体となって連結ベースでの収支の改善、資金状況の改善を行って、各種経営課題にも対処してまいります。

今後とも皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月7日
北海道旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 島田 修

平成 29 年度 第 2 四半期決算のポイント

平成 29 年 11 月 7 日
北海道旅客鉄道(株)

【第 2 四半期決算】

○連結決算のポイント

- ・営業収益は、北海道新幹線が開業 2 年目となりご利用が落ち着いたことから鉄道運輸収入は減収となりましたが、昨年新たなホテルを開業したホテル業や札幌駅商業施設が好調な不動産賃貸業などが増収となり、前年に対して 5 億円増加した 8 6 3 億円となりました。
- ・経常利益は、J R 北海道単体では、減収や安全の基準を維持するための修繕費の増加などにより 2 1 億円の経常赤字となりましたが、連結ではグループ一体となった事業展開により 1 4 億円の黒字を確保しました。
- ・資金面では、営業活動によるキャッシュ・フローが単体では 3 9 億円でしたが、連結では 9 8 億円となり 5 9 億円を上積みしました。
- ・J R 北海道単体では、グループからの地代・家賃や配当金として約 8 0 億円を受け取り、安全投資や修繕の資金に活用しています。

○連結通期業績予想のポイント

- ・年初業績予想では、連結で過去最大の 1 3 0 億円規模の経常赤字となる大変厳しい計画としていますが、札幌圏における鉄道のご利用増加や好調なホテル業で収益を確保するなど収支改善にグループで全力を挙げて取り組むことで経常赤字の悪化を最小限にとどめ、連結での最終赤字は年初業績予想と同じ 1 1 0 億円をめざします。

(単位：億円)

	J R 北海道グループ (連結)			J R 北海道 (単体)		
	前年実績 (a)	実 績 (b)	増 減 (b-a)	前年実績 (c)	実 績 (d)	増 減 (d-c)
営 業 収 益	8 5 7	8 6 3	5	4 5 5	4 5 0	△ 4
[うち鉄道運輸収入]	[3 7 2]	[3 6 6]	[△ 6]	[3 7 2]	[3 6 6]	[△ 6]
(再掲 新幹線運輸収入)	(6 4)	(4 8)	(△ 1 5)	(6 4)	(4 8)	(△ 1 5)
営 業 費 用	9 8 3	1, 0 0 9	2 5	6 2 7	6 4 7	1 9
営 業 利 益	△ 1 2 6	△ 1 4 6	△ 1 9	△ 1 7 2	△ 1 9 7	△ 2 4
営 業 外 損 益	1 4 7	1 6 0	1 3	1 6 2	1 7 5	1 2
[うち基金運用収益]	[1 1 7]	[1 3 3]	[1 5]	[1 1 7]	[1 3 3]	[1 5]
[うち特別債券利息]	[2 7]	[2 7]	[—]	[2 7]	[2 7]	[—]
経 常 利 益	2 0	1 4	△ 6	△ 1 0	△ 2 1	△ 1 1
特 別 損 益	△ 5	9	1 4	5 5	2 9	△ 2 5
税金等調整前四半期純利益	1 5	2 3	8	4 4	7	△ 3 7
四 半 期 純 利 益	7	1 6	9	4 4	7	△ 3 6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2	1 0	7	—	—	—

(注) 1. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

2. J R 北海道 (単体) における税金等調整前四半期純利益欄は、税引前四半期純利益の金額を表示しております。

【平成 29 年度通期業績予想】

(単位：億円)

	J R 北海道グループ (連結)			J R 北海道 (単体)		
	年初業績予想 (a)	通期業績予想 (b)	増 減 (b-a)	事業計画 (c)	通期業績予想 (d)	増 減 (d-c)
営 業 収 益	1, 7 2 5	1, 7 2 5	—	9 0 9	8 9 9	△ 1 0
営 業 利 益	△ 4 1 5	△ 4 2 5	△ 1 0	△ 5 0 5	△ 5 2 0	△ 1 5
経 常 利 益	△ 1 3 0	△ 1 4 0	△ 1 0	△ 1 8 9	△ 2 1 9	△ 3 0
親会社株主に帰属する当期純利益 (単体は当期純利益を表示)	△ 1 1 0	△ 1 1 0	—	△ 1 2 2	△ 1 2 7	△ 5

1 連結損益計算書

(単位：億円)

	平成28年度	平成29年度	増 減	比率(%)
営 業 収 益	857	863	5	100.7
(うち鉄道運輸収入)	(372)	(366)	(△6)	(98.3)
(再掲 新幹線運輸収入)	(64)	(48)	(△15)	(75.6)
営 業 費 用	983	1,009	25	102.6
[運輸業等営業費及び売上原価]	[857]	[875]	[18]	[102.1]
[販売費及び一般管理費]	[126]	[133]	[7]	[105.7]
営 業 利 益	△126	△146	△19	－
営 業 外 損 益	147	160	13	109.0
(うち経営安定基金運用収益)	(117)	(133)	(15)	(113.4)
(うち特別債券受取利息収益)	(27)	(27)	(－)	(－)
経 常 利 益	20	14	△6	69.2
特 別 損 益	△5	9	14	－
税金等調整前四半期純利益	15	23	8	153.8
法 人 税 等	8	7	△0	90.0
四 半 期 純 利 益	7	16	9	226.2
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	6	1	142.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2	10	7	351.1

連結包括利益 平成28年度 △98億円 平成29年度 58億円

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

2 セグメント情報

(単位：億円)

		運輸業	小売業	不動産 賃貸業	ホテル業	その他	合 計	調整額	連結損益 計算書計上額
平成 29 年度	売 上 高								
	外部顧客への売上高	467	182	125	41	45	863	－	863
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	29	0	6	0	146	182	△182	－
	計	496	182	131	41	191	1,045	△182	863
	セグメント利益	△42	4	38	8	6	14	△161	△146
増 減	売 上 高								
	外部顧客への売上高	△2	△3	1	5	4	5	－	5
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	△0	0	0	21	24	△24	－
	計	0	△3	1	6	26	30	△24	5
	セグメント利益	△5	△1	0	1	0	△3	△16	△19

- (注) 1. セグメント利益は、営業利益を表示しております。なお、運輸業のセグメント利益は、経営安定基金運用収益(133億円)、及び機構特別債券受取利息収益(27億円)を含めて表示しております。
2. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。
3. 前連結会計年度末より、一部の会社のセグメント区分を変更しております。増減は、変更後のセグメント区分に基づき表示しております。

3 連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成28年度 期 末	平成29年度 第2四半期末	増 減	比率(%)
[資産の部]				
流 動 資 産	6 5 3	6 6 6	1 3	1 0 2 . 0
固 定 資 産	3, 7 2 7	3, 6 5 3	△ 7 3	9 8 . 0
(うち有形固定資産)	(3, 5 5 0)	(3, 4 9 7)	(△ 5 2)	(9 8 . 5)
(うち無形固定資産)	(7 5)	(5 6)	(△ 1 9)	(7 4 . 3)
経 営 安 定 基 金 資 産	7, 6 6 8	7, 7 2 8	6 0	1 0 0 . 8
機 構 特 別 債 券	2, 2 0 0	2, 2 0 0	—	1 0 0 . 0
資 産 合 計	1 4, 2 4 9	1 4, 2 4 8	△ 0	1 0 0 . 0
[負債の部]				
流 動 負 債	7 3 7	5 3 4	△ 2 0 3	7 2 . 5
(うち1年以内返済長期借入金)	(7 4)	(7 2)	(△ 1)	(9 7 . 7)
固 定 負 債	1, 8 6 1	2, 0 0 8	1 4 6	1 0 7 . 9
(うち長期借入金)	(8 3 2)	(9 8 5)	(1 5 2)	(1 1 8 . 3)
機構特別債券引受借入金	2, 2 0 0	2, 2 0 0	—	1 0 0 . 0
負 債 合 計	4, 7 9 9	4, 7 4 3	△ 5 6	9 8 . 8
純 資 産 合 計	9, 4 4 9	9, 5 0 5	5 5	1 0 0 . 6
(うち利益剰余金)	(2 6 7)	(2 7 7)	(1 0)	(1 0 3 . 8)
負 債 純 資 産 合 計	1 4, 2 4 9	1 4, 2 4 8	△ 0	1 0 0 . 0

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

4 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成28年度	平成29年度	増 減	比率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー(I)	9 0	9 8	7	1 0 8 . 8
投資活動によるキャッシュ・フロー(II)	△ 8 2	△ 7 5	7	9 1 . 5
(固定資産取得による支出)	(△ 1 7 0)	(△ 1 5 3)	(1 6)	(9 0 . 2)
(設備投資助成金による収入)	(3 3)	(5 7)	(2 4)	(1 7 2 . 4)
フリー・キャッシュ・フロー(I)+(II)	8	2 3	1 4	2 7 4 . 0
財務活動によるキャッシュ・フロー(III)	2 8	4 9	2 1	1 7 4 . 3
(長期借入金の借入による収入)	(1 3 7)	(1 8 8)	(5 0)	(1 3 7 . 0)
(長期借入金の返済による支出)	(△ 3 6)	(△ 3 8)	(△ 1)	(1 0 4 . 9)
(非支配株主への配当金の支払額)	(△ 1 4)	(△ 3)	(1 0)	(2 4 . 4)
現金及び現金同等物の増減額(I)+(II)+(III)	3 7	7 3	3 6	1 9 7 . 3
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 9 4	2 5 7	6 3	1 3 2 . 7

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

【参考：ＪＲ北海道単体決算】

１ 単体損益計算書

(単位：億円)

	平成２８年度	平成２９年度	増 減	比率(%)
営 業 収 益	４５５	４５０	△ ４	９８．９
鉄 道 運 輸 収 入	３７２	３６６	△ ６	９８．３
(うち新幹線運輸収入)	(６４)	(４８)	(△ １５)	(７５．５)
関 連 事 業 収 入	３０	３０	△ ０	９８．１
そ の 他 収 入	５１	５３	２	１０４．１
営 業 費 用	６２７	６４７	１９	１０３．１
人 件 費	２３２	２２４	△ ７	９６．７
動 力 費	２１	２４	３	１１０．６
修 繕 費	１２８	１５１	２２	１１７．９
諸 税	１５	１６	１	１０６．０
減 価 償 却 費	１１６	１１４	△ ２	９８．２
そ の 他 費 用	１１２	１１５	３	１０２．９
営 業 利 益	△ １７２	△ １９７	△ ２４	—
営 業 外 損 益	１６２	１７５	１２	１０８．０
(うち経営安定基金運用収益)	(１１７)	(１３３)	(１５)	(１１３．４)
(うち機構特別債券受取利息収益)	(２７)	(２７)	(—)	(—)
経 常 利 益	△ １０	△ ２１	△ １１	—
特 別 損 益	５５	２９	△ ２５	５３．９
税 引 前 四 半 期 純 利 益	４４	７	△ ３７	１７．５
法人税、住民税及び事業税	０	０	△ ０	４９．５
四 半 期 純 利 益	４４	７	△ ３６	１７．０

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

２ 鉄道輸送量及び鉄道運輸収入

	平成２８年度	平成２９年度	増 減	比率(%)
輸 送 人 員	千人	千人	千人	
	定 期	定 期	定 期	
	(うち新幹線)	(うち新幹線)	(うち新幹線)	
輸 送 人 員	定 期	定 期	定 期	
	(うち新幹線)	(うち新幹線)	(うち新幹線)	
	合 計	合 計	合 計	
輸 送 人 員	百万人	百万人	百万人	
	定 期	定 期	定 期	
	(うち新幹線)	(うち新幹線)	(うち新幹線)	
輸 送 人 員	定 期	定 期	定 期	
	(うち新幹線)	(うち新幹線)	(うち新幹線)	
	合 計	合 計	合 計	
鉄 道 運 輸 収 入	億円	億円	億円	
	定 期	定 期	定 期	
	(うち新幹線)	(うち新幹線)	(うち新幹線)	
鉄 道 運 輸 収 入	定 期	定 期	定 期	
	(うち新幹線)	(うち新幹線)	(うち新幹線)	
	合 計	合 計	合 計	

(注) 鉄道運輸収入は億円未満を切り捨てて表示しております。

3 単体貸借対照表

(単位：億円)

	平成28年度 期 末	平成29年度 第2四半期末	増 減	比率(%)
[資産の部]				
流 動 資 産	366	335	△ 30	91.5
固 定 資 産	3,123	3,083	△ 39	98.7
(うち有形固定資産)	(2,779)	(2,743)	(△ 35)	(98.7)
(うち無形固定資産)	(57)	(40)	(△ 16)	(71.5)
経営安定基金資産	7,668	7,728	60	100.8
機 構 特 別 債 券	2,200	2,200	—	100.0
資 産 合 計	13,358	13,347	△ 10	99.9
[負債の部]				
流 動 負 債	597	382	△ 215	64.0
(うち1年以内返済長期借入金)	(47)	(47)	(0)	(99.2)
固 定 負 債	1,531	1,687	155	110.2
(うち長期借入金)	(681)	(846)	(165)	(124.4)
機構特別債券引受借入金	2,200	2,200	—	100.0
負 債 合 計	4,329	4,269	△ 59	98.6
純 資 産 合 計	9,029	9,077	48	100.5
(うち利益剰余金)	(△ 6)	(0)	(7)	(—)
負 債 純 資 産 合 計	13,358	13,347	△ 10	99.9

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

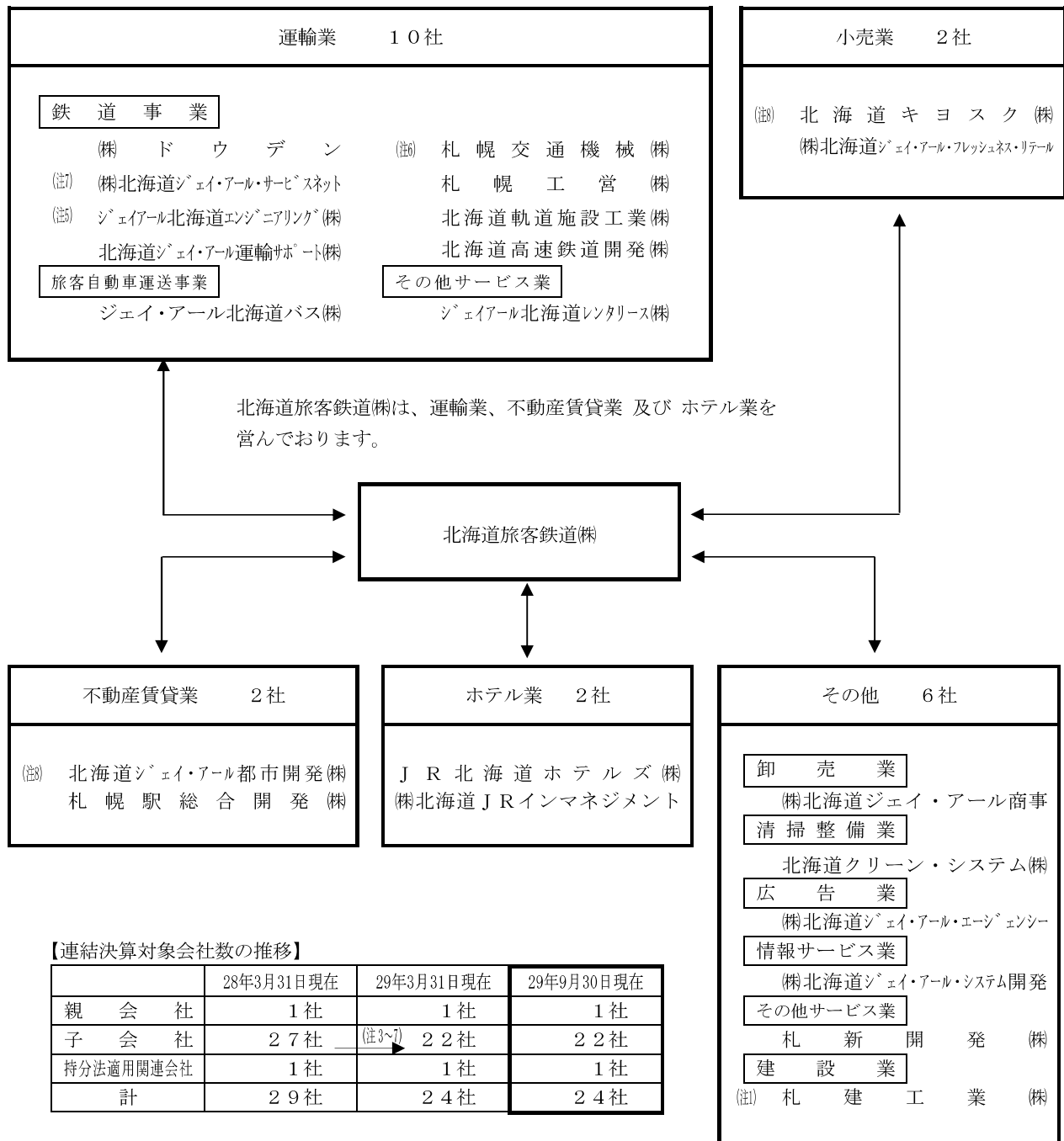
4 個別キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成28年度	平成29年度	増 減	比率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー(I)	91	39	△ 52	43.1
投資活動によるキャッシュ・フロー(II)	△ 41	△ 34	7	81.6
(固定資産取得による支出)	(△ 131)	(△ 134)	(△ 2)	(102.1)
(設備投資助成金による収入)	(33)	(57)	(24)	(172.4)
フリー・キャッシュ・フロー(I)+(II)	49	5	△ 44	10.8
財務活動によるキャッシュ・フロー(III)	△ 1	65	66	—
(長期借入金の借入による収入)	(33)	(188)	(155)	(563.3)
(長期借入金の返済による支出)	(△ 25)	(△ 24)	(0)	(96.0)
現金及び現金同等物の増減額(I)+(II)+(III)	48	70	22	146.8
現金及び現金同等物の四半期末残高	68	113	44	165.4

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

連結決算対象会社の概要



- (注) 1. 札幌建工業(株)は、持分法適用関連会社です。
2. 子会社数22社には、上記概要図に記載していない、JR札幌病院に関する「匿名組合ジェイエイチホスピタルアセットホールディングズ」を含めております。
3. 株式の売却に伴い、北海道リネンサプライ(株)を連結の範囲から除いております。
4. 清算終了に伴い、旭川ターミナルビル(株)を連結の範囲から除いております。
5. (株)北海道ジェイ・アール・ビルトは、(株)北海道ジェイアール・コンサルタンツと合併し、消滅しております。また合併後、社名をジェイアール北海道エンジニアリング(株)へ変更しております。
6. 北海道ジェイ・アール・サイバネット(株)は、札幌交通機械(株)と合併し、消滅しております。
7. ジェイ・アール道東トラベルサービス(株)は、(株)北海道ジェイ・アール・サービスネットと合併し、消滅しております。
8. 北海道キヨスク(株)及び北海道ジェイ・アール都市開発(株)は、損益の一部をホテル業に区分しております。

平成29年度 第2四半期 連結決算対象会社の経営成績

(単位：百万円、単位未満切捨)

会 社 名		実質 持分 比率 (%)	経 営 成 績 (平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)							
			営 業 収 益		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 純 利 益	
				対前期増減		対前期増減		対前期増減		対前期増減
運 輸	ジェイ・アール北海道バス(株)	100	4,032	1	309	▲ 58	294	▲ 65	208	▲ 33
	(株) ドウデン	100	2,894	163	52	▲ 35	80	▲ 208	55	▲ 184
	(株)北海道ジェイ・アールサービスネット	100	751	141	56	35	57	36	33	22
	ジェイアール北海道エンジニアリング(株)	100	1,259	993	40	31	41	32	26	20
	北海道ジェイ・アール運輸サポート(株)	79	2,438	309	19	150	28	66	14	53
	ジェイアール北海道レンタリース(株)	75	745	0	56	▲ 8	57	▲ 8	39	▲ 19
	札幌交通機械(株)	73	2,786	277	86	21	138	▲ 288	0	▲ 230
	札幌工営(株)	73	390	41	▲ 9	27	▲ 9	27	▲ 43	▲ 6
	北海道軌道施設工業(株)	66	3,528	758	406	160	377	60	244	▲ 1
	北海道高速鉄道開発(株)	50	349	▲ 35	88	66	89	66	62	43
小 売	北海道キヨスク(株)	100	9,220	▲ 344	302	▲ 77	305	▲ 76	179	▲ 69
	(株)北海道ジェイ・アールフレッシュネス・リテール	100	9,108	▲ 34	114	▲ 38	114	▲ 38	69	▲ 26
不 動 産	北海道ジェイ・アール都市開発(株)	100	2,598	▲ 20	228	▲ 10	216	▲ 26	143	▲ 19
	札幌駅総合開発(株)	62	10,207	206	2,000	106	1,984	115	1,312	87
ホ テ ル	J R 北海道ホテルズ(株)	100	4,111	598	664	194	673	206	469	150
	(株)北海道J Rインマネジメント	100	151	27	3	▲ 3	3	▲ 3	1	▲ 2
そ の 他	(株)北海道ジェイ・アール商事	100	13,305	3,149	366	114	372	115	239	61
	北海道クリーン・システム(株)	100	3,166	38	173	30	217	▲ 278	126	▲ 310
	(株)北海道ジェイ・アール・エージェンシー	100	1,113	▲ 93	55	▲ 12	55	▲ 12	26	▲ 9
	札幌新開発(株)	100	711	▲ 20	118	▲ 10	141	▲ 10	92	▲ 8
	(株)北海道ジェイ・アール・システム開発	90	1,694	▲ 138	▲ 35	▲ 51	▲ 39	▲ 57	▲ 26	▲ 37
子 会 社 合 計		-	74,794	4,639	5,119	629	5,220	▲ 350	3,273	▲ 603
札幌工業(株) (持分法適用関連会社)		28	2,363	▲ 1,260	45	▲ 27	71	▲ 215	51	▲ 142

北海道旅客鉄道(株)	-	45,014	▲ 488	▲ 19,721	▲ 2,452	▲ 2,186	▲ 1,160	751	▲ 3,668
------------	---	--------	-------	----------	---------	---------	---------	-----	---------

連 結 決 算 額	-	86,303	582	▲ 14,622	▲ 1,974	1,450	▲ 646	1,011	723
-----------	---	--------	-----	----------	---------	-------	-------	-------	-----

- (注) 1. 実質持分比率(少数点以下切り捨て)、資本金の順位で記載しております。
2. 連結決算額における四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を表しております。
3. 実質持分比率は平成29年9月30日現在です。
4. 子会社合計の対前期増減欄は、前年度中に連結決算の対象から外れた5社の金額を含めているため、上記子会社の合計金額と一致しません。
5. 子会社合計の金額には、上表に記載のない匿名組合「ジェイエイチホテルアセットホールディングス」を含めております。
6. 前年度において札幌駅総合開発(株)が特別配当を行ったことにより、一部の会社の経常利益、四半期純利益の対前期増減にマイナスの影響が出ております。